

総務産業 常任委員会

10月21日と11月28日に開催した「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

10月21日

産業振興課

奥尻港海岸高潮対策事業及び港湾整備、奥尻町創業・雇用拡大補助金について説明がありました。

(9)

奥尻港海岸高潮対策事業は、北海道南西沖地震災害後から事業が進められ、令和8年度で事業が完了する見込みとなり、令和6年度では、杭打ち工事を行う予定でしたが、札幌圏の工事等の影響で機械の調達ができないため、事業費全額を令和7年度へ繰越すこととしました。

港湾整備については、平成29年度に策定された計画では、港湾南側を埋め立て、庁舎建設用地や防災緑地用地として活用するとなっており、新庁舎が建設され、防災緑地も新庁舎とともに整備されたこと、また、漁業者のヒアリングからも港湾の内港で静穏度が高いため漁船を係留する場所として使いたいとの声もあるため計画を変更していきたいが、計画変更するには、北海道開発局との協議が必要なため、漁業者へのヒアリングや資料作りを業者に委託し現在作業を進めています。

奥尻町創業・雇用拡大補助金については、町の財政状況により、国の交付要件より低く設定しており、これを国の上限額まで変更することを検討していると説明がありました。

委員からは、港湾整備の

事業予算や年数の確認、創業・雇用拡大補助金の変更については、概ね了承するなどの意見が出されました。



まちのトピックス

令和7年奥尻町消防出初式

1月3日、令和7年奥尻町消防出初式が行われました。

沿道に多くの町民が見守る中、消防署員及び各地区の消防団員54名が総合庁舎から海洋研修センターまで行進しました。

幸い年末年始にかけて町内では火災が発生していませんが、道内各地では火災が発生しているため、参加者は改めて火の取り扱いには十分注意し、火災のない明るいまちづくりを願い行進していました。

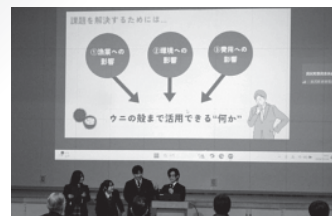


高校生が町おこしを提案

12月14日、奥尻高校で「町おこしワークショップ」が行われました。

生徒が13グループに分かれ漁業、農業、環境などの分野から

地域の現状と課題を分析し新たな商品開発やイベントの実施など、コスト面も考慮した具体的な提案がされました。



地域政策課

ホテル開発について説明がありました。

新たなホテル建設に向けホテルの規模や諸条件を整理するため、9月に業者に委託し、ヒアリングや調査、分析を進めており、中間報告書の内容について報告がありました。

また、最終報告書は10月末に提出されるため、11月中に再度、委員に報告すると説明がありました。

委員からは、ホテルの規模や、財源についての質問や様々な意見が出されました。



総務課

専決処分及び旧潮風寮売却について説明がありました。

専決処分は、10月9日付で衆議院解散に伴う衆議院議員総選挙費などの補正予算、10月15日付けで役場庁舎や海洋研修センターの警備業務について委託業者の有資格者が不在になったことに伴い、会計年度任用職員として採用するための報酬等と、松風寮の委託業者との契約解除により会計年度任用職員を採用するための報酬等の補正予算を、それぞれ専決処分したと報告がありました。

旧潮風寮は、土地と建物を売却することとし、一般競争入札方式で、売却価格は固定資産税評価額をベースとして最低価格を610万円、11月から広報及び町ホームページで募集すると

説明がありました。

委員からは、警備業務の今後の体制や入札が不調となった場合の対応などについて意見が出されました。

教育委員会

松風寮の管理運営委託について説明がありました。

先の定例会終了後に、今年度末で現在受託している業者との委託契約が終了すると説明していましたが、代表者の体調不良により10月末で契約を解除し、11月から現在働いている従業員を会計年度任用職員として採用し、運営していくと説明がありました。

委員からは、会計年度任用職員としての処遇や来年度以降の運営体制についてなど確認しました。

